

---

# 魔法少女リリカルなのは ～新世界の神～

八十神

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは ～新世界の神～

### 【Nコード】

N7311V

### 【作者名】

八十神

### 【あらすじ】

彼はまだ死なない。そして本当の神に出会った。そう、新世界の神に

## 一話（前書き）

クロスはあまり好きではないのですが、ライトのような黒い主人公がいたらおそらくこうするだろうな、と思い書き始めます。

まあ、ライトは原作通りの性格なので『この世界の現時点での頂点の存在』になるうとしていきます。

頂点が何かはもうお分かりになるかと。

この世界は腐っている。

毎日のように起こる強盗、殺人、ひき逃げなどの犯罪。人間という生き物はここまで腐っているのか、疑問に思っていた。

どのようにすれば彼らのような社会のクズを抹消する事が出来るのか、どうすればこの世界は良くなっていくのか。

実は今の世界より、比較的犯罪と呼ばれる出来事がまったくと見えるほど無かった時代が存在する。

その時代は今現在よりずっとずっと昔…言ってしまうえば江戸時代でも構わない。つまり、上に立つ人間だ。

それは、上の存在、頂点の存在。

人間は強いものに惹かれ、そして崇拜していく。上の存在を、まるで『神』のように崇めるのだ。

そう、『神』だ。

『神』なんだ。

僕にも神様なんているわけがない…そう思っていた時期があった。神なんてものは人生でなんらかの支えを失った人間の作り出す虚像の存在、哀れでしかない。

僕は神を信じていない。実在したとしてもその生物を神だとは思わない。

なぜならば。

神は何もしていないからだ。

弱者が強者に力で屈服させられている時でも、何もしていない、ただ傍観しているだけ。

助ける事もせず、逆にこの世は犯罪が増える一方だ。

だから、この世界に神なんて存在はない。実在しないのだ。

ああ、勘違いしないでくれ、僕は宗教紛いな事は好きじゃないからね。ただ、『今までの神の存在』なんてものは否定しても構わないと、そう言いたかっただけなんだ。

神はいない…でも、こっちは存在する。

無能は神と違い、弱者に手を差し伸べ、犯罪者をひれ伏せるほどの素晴らしい神。

そんな神がいたら、君はどうする？

『いるんだよ』

いや、厳密には『いた』と言ってもいい。神…彼はもう死んだ人間なのだから。

彼は神になった。彼が神になってから、世界では犯罪が激減した。素晴らしい事だった。

でも、もうあの世界に神はいない。

神は人々を助けたその行いの報いを受ける事になり、永遠に続くと思われた地獄を味わっていた。

でも、神は…救世主は実在した！

あれは、そうだな…体感時間で、一週間くらいの事かな？

「ふう……」

小さく欠伸をしながら玄関に入れてあった新聞を取り、外の寒さに耐えながら僕はいそいそと家に戻る。

居間ではトーストがちょうど焼けた瞬間で、それを口に啜え、沸かしてあったポットからコーヒーをカップに注ぐ。

「あちっ」

まだこの体にはなれていないのか、器用だったはずの僕の身体は

なかなか扱いつらかった。

トーストにジャムを塗りながら、片手で新聞の一面を軽く流し読む。

「『飲食店で食中毒！ 全国チェーンの 店の本質！』…『有名議員、直人氏の不正取引！？』…やっぱり、どこの世界でも人は腐ったままだな」

パンを齧りながら、パラパラとページをめくっていくと、

「ん…？」

気になる一面を見つけた。

『またもや犠牲者。謎の黒い生物に迫る！』

信憑性が低いのか、その記事は隅っこに小さく掲載されているだけだったが、それを僕は見逃さなかった。

最近こういった類の事件が多く、さらにそれはココ、僕の住んでいる『海鳴市』で頻繁に起こっているらしい。

今までの僕ならこんなオカルトな事信じるはずもなかったが…今は違う。

「…本当にこの世界は面白い…くくく、神に相應しい世界じゃないか、なあ？」

横目で、テーブルの上に置いてある”Cloister Black”と呼ばれる筆記体で書かれた、金属製のネックレスを見る

「そう思わないか？ L？」

『…夜神 ライト、貴様はここでも神になるつもりなのか…？』

その喋るネックレスは、皮肉にも僕がいた世界での宿命のライバルだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7311v/>

---

魔法少女リリカルなのは ~新世界の神~

2011年10月9日04時26分発行